

4 単元計画（20時間）

段階	配時	学習活動	具体的な手立て
であう	2	○ 小川の生き物を調べたり、地域の方から昔の小川の様子について話を聞いたりして現在では生き物が減っていることに気づき、めあてをつかむ。 ・あまり生き物がいないなあ。 ・昔はもっと生き物がいたんだ。 ・たくさんのホタルを見たいなあ。 ・ホタルが住む小川を取り戻したいなあ。	・ 児童がホタルのたくさん飛ぶ小川を取り戻したいという学習課題と出会うために、事前に地域の方が「昔の小川の様子」と「今年のホタルの様子」について話をしてしているVTRを準備しておく。
つ	1	○ どうしてホタルが去年よりも減ってしまったのかを考える。 ・ホタルを食べる生き物がいるから。 ・大雨が降っているから。 ・水が少ないから。汚いから。 ・気温が高いから	・ ホタルが減ってしまった理由を考えさせるために、生活体験（ホタルが飛ぶ時期と気温、プール水温、大雨など）から予想を立てさせる。
	2	○ GTに自分達が考えた予想を発表し、川を調査してホタルが減ってしまった理由を考える。 ・ホタルを食べる生き物がいるのか。→実際にホタルを食べる生き物を探す。 ・水は汚れていないのか。→GTと一緒に試薬やカワニナの量で調べる。	・ ホタルが減ってしまった原因を突き止めるために、児童の予想をもとに実際に川に入ってGTと一緒に調べさせる。
る	1	○ ホタルを守るための方法を考える。 ・大雨からホタルとカワニナを守るために家をつくる。 ・きれいな川をこれからも保つようにする。	・ ホタルを守る方法を考えさせるために、事前に図書資料を使ってホタルが食べるものや育ちやすい環境、生活排水などについて調べさせる。
	5 + 常時	○ ホタルを守る活動に取り組む。 ・カワニナを繁殖させるために、小学校内の池を使おう。 ・自分達はどんな生活排水を出しているか調べよう。 ・水はどうしたらきれいになるか調べよう。	・ 生活排水減らすための方法や水をきれいにする方法などを図書資料やインターネットなどを使って調べさせる。
	1 本時	○ どのような生活排水を出しているのか整理し、生活排水を少なくする方法や水をきれいにする方法について話し合い、自分が実践することを自己決定する。 ・お皿の汚れをパンなどで拭き取る。 ・水をきれいにする装置を作ろう。	・ 図書資料やインターネットなどで調べた、「生活排水を減らす方法」や「水をきれいにする方法」を出し合いながら、それぞれにあった解決方法を話し合わせ自己決定させる。
	1 + 課外	○ 実際に生活排水を出さないように意識しながら生活してみる。 ・汚れを拭き取ったら洗い物が楽になったよ。 ・自分達だと難しいなあ。	・ 継続的に活動させたり、達成感をもたせたりするために、活動日誌を書かせておく。
深める・生かす	1	○ 地域や保護者の方に何をどのような方法で伝えるとよいか考える。 ・生活排水を考えてもらいたい。 ・ゴミを捨てないでほしい。	・ 目的意識を持たせるために、流れ図やこれまでの学びの感想を交流し合う場面を設定する。
	4	○ 発信するために準備をする。	・ 発信対象によって発信方法を変える。
	1	○ 学習を通じて学んだことを発信する。 【学校】：クイズ形式で伝える。 【地域】：ポスターで伝える。	・ 児童に参画意識をもたせるために、低学年にやり方を教えたり、地域を回りポスターや回覧板を渡したりさせる。
	1	○ 地域の方や保護者からのコメントをもとに、単元のまとめをする。	・ 活動できたことの達成感を味わわせるために、事前に地域の方や保護者から手紙や動画でコメントをもらっておき、児童に紹介する。